

(令和3年4月5日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >
(財務体質・その2-ROEの展開)

前回は自己資本当期純利益率 (ROE) についてでした。今回は ROE の展開式については、前回のコメントで触れましたが、当期純利益を経常利益に置き換えてとなります。また、ROE の展開は昨年6月7日に掲載したものを重複して掲載しています。

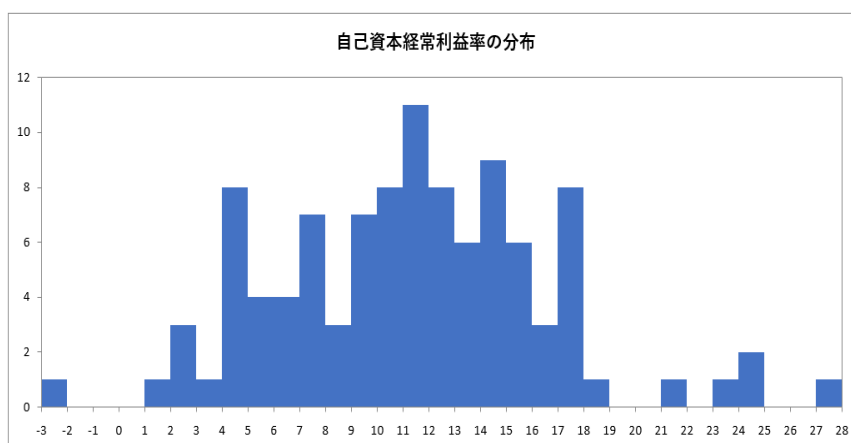
財務分析比率に、分母と分子に同じ勘定科目などを乗じ、組み合わせを変えることにより意味のある複数の財務分析比率に分解することがよくあります。下記は、一般的な展開式で ROE(自己資本経常利益率)に、売上高/売上高、総資本/総資本を乗じて組み合わせを変えたもので、結果、売上高経常利益率、総資本回転率、財務リバレッジ (自己資本比率の逆数) に分解となります。

<ROEの展開式・その1>

$$\begin{aligned} \frac{\text{経常利益}}{\text{自己資本}} &= \frac{\text{経常利益}}{\text{自己資本}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{総資本}}{\text{総資本}} \\ &= \frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} \times \frac{\text{総資本}}{\text{自己資本}} \\ &\quad \left(\begin{array}{c} \text{売上高} \\ \text{経常利益率} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{総資本} \\ \text{回転率} \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \text{財務リバレッジ} \\ \text{自己資本比率の逆数} \end{array} \right) \end{aligned}$$

このように分解すれば、何が要因で ROE が高いのか、低いのが理解でき、企業の財務体質の評価ができるようになります。

経常利益でみた ROE の分布 (機械、電機、輸送用機器、精密)



日経平均 500 採用銘柄、業種は機械・電機・輸送用機器・精密。2020 年決算対象に GC Hello Trend Master で集計。10%~15%近辺に分布が集中しています。(了)